

の秩序を破るの端を開くものあらとも云ひ難然のみならず世間射利の徒は此有様を見て以て奇貨居可しとなすものも少くらざれば旁々以て華族の財産維持法は今後ますく因縁の場合に遭遇するものと覺悟せざる可らず或は世襲財産法の在るあれば斯る心配は無用なる可しと云ふ者あれども奇縁限りなき今の世の中に唯一片の法律に依頼して大家の榮光を萬世よ保さんとするは迂闊の至りと云ふの外ある可らず又營業の利に依て以て華族を保護せんとするが如きは徒らに世間の

時事新報

回復の望あきにあらざるよ於てそや而して買入の一段  
又至ては舊藩主の餘蔭に依て其便利も少あからざる事  
なれば今の中に舊藩地に移住して土地を買入れ之を世  
襲財産として子孫萬世の計をあし世上營利の事に關せ  
ずして永く家門の榮光を保つ工風最も肝要ある可し  
然るに人或は反對の説をあして華族の舊藩地に移住し  
て殖産興業に從事するは則ち可なりと雖も土地を買入  
るしの一義に至ては如何ある可きや左なきに今的小  
地主は土地を持堪ふる能はずして動もすれば他の兼併  
を忍るし場合に當り舊藩主の餘光を以て之を買入るし  
とあれば一も二もなくその併せらるゝ所とあり地方に  
衰れなる小作人を見るよ至る可しと云ふものあり勿論  
我輩の宿論に於ても土地の所有は成る可く均一にして  
大小懸隔の甚しきよ至らざる事を希望する者なれども  
左ればとて經濟社會の事は人爲を以て制す可らずして  
區々たる小百姓の所有地が遂に次第よ資本の豊なる者  
よ歸するは自然の成行にして他より駐む可きにあらざ  
れは之を其成行よ任せて唯利是れ目的とする紳商輩の  
手よ歸せしめんより寧ろ數百年來の餘情猶ほ温うなる  
舊主人の有とあし地主小作人の契約外よ自ら一種の情  
緒を存するふとは決して雙方の不利と云ふ可らず或は  
事の極端を書き舊主の威光を以て細民を壓するの弊も  
ある可しなど云ふものなきにあらず實際よはあるまに  
き事なりと遇へども好しや萬一之れありとするも斯る  
場合みろ即ち法律契約の入用なる處にして封建の舊  
故は以て文明の法理に敵す可らず人民なるものは唯そ

の出る處に出でし正理を争ふの覺悟ある可きのみなれば斯る心配は始めより無用ありと知る可し左れば我輩は華族の財産維持法は第一舊藩地ム移住し愈々移住の其上ムは土地を買入れて之を永久に保つの一事が外ならざる可しと信ずるものなり

●佛國大藏卿の訓令 左に掲ぐるは巴里より近着の報なるが時節柄我國人も注意すべき事あるべし  
佛國大藏卿ルーヴィエー氏は此頃一篇の達文を發し大藏省附屬の官吏は各々受持ちの事務を仕逐ぐるのみにて其務を盡せしものと思ふべからず豫て又政府の爲めに力を盡して何事によらず政府又味方せざるべからずとの旨を省内官吏に訓令せり蓋し訓令の意は會計官、收稅吏其他の官吏をして来る十月の總選舉又在朝黨候補者の競争を助けしめんとするにあるや明白なり元來佛國又於ては選舉のある毎に時の行政官が政府の威勢を私用して自黨を助くるは珍らしからぬ事より却て毫も左る最負の沙汰を見ざるぶろ稀なる程なれども今回の如く其執務の更ニ政黨に關係なき屬官又公然と訓令したるは實ニ非常なる事共なり先年マクマホン總督が此類の諭達を發して假令而選舉の結果は孰れの黨々勝つにもせよ其復讐は恐るゝに及ばずとて官吏の盡を獎勵し自黨を助けしめんとしたるに其盡力は何の功もなさず反對黨の再選されしもの三百六十三名に及びれり左れば千八百八十五年今の大統領サザー・カルノー氏が大藏卿たりし時氏は同省の官吏より向て孰れの黨派又も左袒するふとなく嚴然選舉外に中立すべしと訓令したりうれど此れとは全くの反対にてルーヴィエー氏の「かねば別表其がて當て」の如きにて

○青森通信 東奥日報社主菊池九郎氏は弘前市長に撰  
め餘程奮激する所あり幸として撰擧に多數を得ば云々  
すべしと其復讐を計畫する程ありと云ふ

○青森通信 東奥日報社主菊池九郎氏は弘前市長に撰  
舉されるより公務の傍らには社務を整理し兼ねると  
て今度持主を止めたるよ付き前の北津輕郡長たりし工  
藤行幹氏昨廿八日より持主とあれり○縣下各郡本年の  
寒蟬は季候の不順にも係はらず至極盛況みて早さは四  
眠以上過ぎも三眠を過きたる由なれば收獲の期は本月  
十五六日頃あるべしと云ふ○本縣にて去る頃製氷取締  
規則を發表せしが至極行届きたる規則にして衛生上最  
も好きふとながら語冬製氷し今や暑中の季に迫り賣出  
さんとの目論見中俄然該規則の發表ありたれば語冬製  
氷したるものは發賣する能はざる事なるべしとて製氷  
家は大に迷惑し居る由なるか語冬製氷の分丈けは検査  
の上無害のものよ限り規則發布前よ係るを以て發賣を  
許すふともならんかと思はる○鐵道は是非八九月頃  
までに小湊より八ノ戸迄運轉を試る目算なれども現今  
興駅多忙の爲め土方よ不足を生じ工事思ふ儘よ擣取ら  
されば八ノ戸迄の開通は當年末あるべしと云ふ（六月  
廿九日發）

○家雞改貞會 長野縣・高井郡の山田儀兵衛、市川武  
十郎、佐藤曾治郎等の諸氏は同郡長筭輪鼎氏其他名臥  
家二十餘名の賛成を得て今度家雞改貞會あるものを  
設立し東陽所と同郡延岡村大字櫻澤の市川氏宅を假定

事項	前年分
青葉	七十五貫目
屑物	二十五貫目
製茶	十五貫目
色澤	赤 黑

事項	前年分	本年分
青葉	七十五貫	一百五貫
色澤	赤 黑	青 黑
製茶	十五貫日	二十貫日
屑物	二貫日	三貫日
○春芳堂の張箱	五百四十五貫	五百四十五貫
○北米合衆國ワシントン州の貿易	五百四十五貫	五百四十五貫
○大工石工	五百四十五貫	五百四十五貫
○農夫	五百四十五貫	五百四十五貫
○料理人	五百四十五貫	五百四十五貫
○櫛夫	五百四十五貫	五百四十五貫
○粉所職人	五百四十五貫	五百四十五貫
○以上日給	五百四十五貫	五百四十五貫
○以上月給	五百四十五貫	五百四十五貫